けやき

南中学校学校だより
校　長　加藤新吾

○第７３回　卒業証書授与式

卒業生の前途を祝福する

3月11日に，「第73回　卒業証書授与式」を挙行いたしました。今年はコロナウイルスの関係で例年とは異なり，卒業生・保護者・教員のみの式となりましたが，162名の卒業を祝う気持ちには何ら変わりはありません。

南中卒業生としての誇りと責任を胸に、自分の夢に向かって確かな一歩を踏み出しました。

○三年生に贈る会

3月2日に、テーマ「紅雲」のもと、「三年生に贈る会」を行いました。縮小しての開催でしたが，合唱・応援・スライドと心温まる三贈会でした。新生徒会の初めての取り組みでしたが、3年生からのバトンをしっかりと受け取ることができたと思います。

○平成３１年度　修了式を行いました。

1･2年生のこれからの活躍を期待します。

1･2年生の皆さん，修了おめでとう。1年間の各学年の教育過程を修了したことの証として，各学年の代表の人に修了証書を渡しました。よく頑張りました。コロナウイルスの関係で，このような形で修了式を迎えることに残念な気持ちもありますが，皆さんの進級をお祝いする気持ちには変わりはありません。

今年の生徒会誌「みなみ」から，各学級の様子を知ることができました。学んだこととして，1年生は，「達成感」「気持ちを合わせる」「個性を大切にする」「何でも乗り越えられる」などが，2年生では，「心をひとつにする」「元気が大切」「自分たちの力で課題を乗り越える」「笑顔を大切にする」「あきらめないこと」「団結力」「大切な宝物」などが書かれていました。これ以外にも，一人ひとりが多くのことを，この1年間で学んだのではないでしょうか。

また，急な変更で準備も大変だったと思いますが，新生徒会を中心に，「三贈会」を成功させることができました。短い中にも，とても良い会だったと思います。

例年ですと，卒業式には2年生と1年生の代表が参列することになっていましたが，今年はできませんでした。卒業生に贈った医師で随筆家の斉藤茂太さんの言葉を1，2年生にも贈りたいと思います。

「他人と自分を比べてしまうのは、しょうがない。ただ、あの人のほうが私より上だとか下だとか考えて、幸せを他人との比較で決めるのは、もうおやめなさい。あなたが幸せかどうかは、あなたの気持ち次第。『自分は幸せだ』と思える人だけが、幸せに人生を送れるんです。」

「うさぎ型の人は、うさぎのようなペースで生きるのがいい。うさぎのような能力を発揮するだろう。
かめ型の人は、かめのようなペースで生きるのがいい。かめのような能力を発揮するだろう。
世の中には、さまざまな能力がある。なぜかといえば、さまざまな能力が『必要だから』である。さまざまな能力が活動することによって社会は成り立っている。」

人生には、逆境はつきものです。4月から始まる新しい生活。うまくいかないことや、自分の思い通りにならないことも多くあるはずです。他人が羨ましく見えることもあるかもしれません。他人をうらやむのではなく、自分の可能性を信じて，あなたらしく生きてほしいと思います。

あと2週間で新入生が入学してきます。良き先輩として後輩を助け，全員が協力して南中をさらに発展させてくれることを願っています。

―― 保護者の皆様に ――

一年間，本校の教育活動にご支援・ご協力に感謝申し上げます。中学校を取り巻く環境も変わりつつありますが，教育目標「心豊かで，主体的に行動できる生徒の育成」を目指して，教職員全員で取り組みます。これからも，よろしくお願い申し上げます。

校長：加藤新吾